

Tour de Kumano

Stage 1 / 印南カエル橋周回コース 125.3km (17.9kmx7周)

鎌田晃輝が逃げから山岳賞を獲得！ニコロ・ガリッポがチーム最高位の 13位



レース期間：5月8日

距離：125.3km(17.9kmx7周)

UCIカテゴリー：2.2

参加チーム：19チーム(プロチーム：1、コンチネンタルチーム：16、クラブチーム：2)

出走選手数：110人

JCL TEAM UKYOメンバー：小石祐馬、ニコロ・ガリッポ、小林 海、石橋学、増田成幸、鎌田晃輝

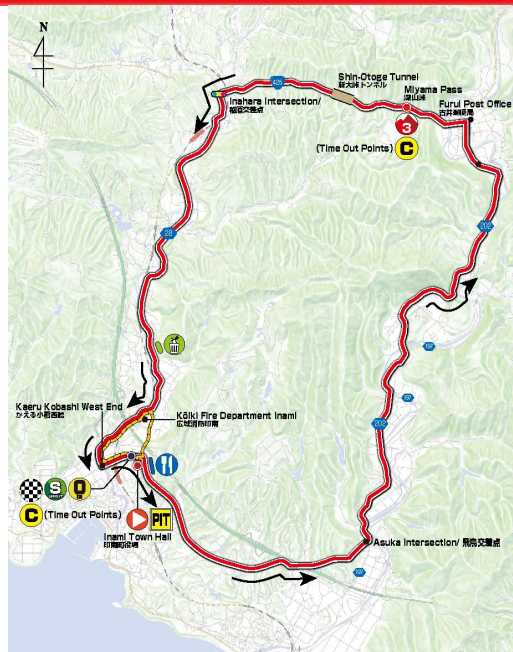
JCL TEAM UKYO監督：マヌエーレ・ボアロ

レース公式サイト：<https://www.tourdekumano.jp/>

JCL TEAM UKYO公式サイト：<https://jcl-team-ukyo.jp/>

Live：<https://www.youtube.com/@cycling-ch/streams>

Photo：<https://x.gd/mJdid>



プレイベントである「和歌山城クリテリウム」から 2日後の5月8日(木)、UCIアジアツアー2クラスのステージレース、ツール・ド・熊野の第 1ステージが行われた。
初日の舞台となったのは、1周17.9kmの「印南かえる橋周回コース」を 7周する125.3km。中盤に3級山岳が設定され、3周目と6周目に山岳ポイントが与えられる。

晴天の中迎えられたレースは、序盤からアタックが連発する。しかしいずれも決め手に欠く中、 2周目にJCL TEAM UKYOから今年2月にUCIアジア選手権男子 U23ロードレースを制した鎌田晃輝がアタック。現マレーシア王者であるアズキ・ヌール・アミルール・ファフルディン(トレンガヌ・サイクリング)と共に集団を抜け出し、 2名による逃げ集団を形成した。

チーム加入2年目の20歳、鎌田を逃げに送ったため、JCL TEAM UKYOは集団牽引の責任を免除される。3周目の山岳ポイントの争いはファフルディンが先頭通過して、最大 5ポイントをゲット。その後、メイン集団を飛び出した岩村元嗣(チームユーラシア- iRC)も加わり、3名は逃げ切りを目指してローテーションを回した。

6周目の山岳ポイントで鎌田はファフルディンにリベンジを果たし、同点の 8ポイントに並ぶ。そして粘った 3名はプロトンに吸収され、最終周回の 3級山岳でJCL TEAM UKYOは集団先頭に人数を集め、ペースアップを敢行。そこから小石祐馬が積極的なアタックを見せたものの、キナンレーシングやソリューションテック・ヴィーニファンティーニによって惜しくも引き戻された。





その結果、勝負は集団スプリントに持ち込まれ、JCL TEAM UKYOは新加入のニコロ・ガリッポ(イタリア)にスプリントを託す。2日前の和歌山城クリテリウムの勝者であるドウシャン・ラヨビッチ(セルビア、ソリューションテック・ヴィーニファンティーニ)が制し、ガリッポは 13位でフィニッシュとなった。

日本王者である小林海が途中棄権したものの、区間順位でファフルディンを上回った鎌田が山岳賞ジャージを獲得し、最後の3級山岳では小石が見せ場を作った JCL TEAM UKYOの選手たち。翌日第2ステージは、昨年大会で2位と3位に入った相性の良い「古座川清流周回コース」が舞台だ。

レース後の鎌田晃輝のコメント

「コンディションが悪い中でも、自分なりに上手く走れたのではないのでしょうか。逃げていた時はタイム差が広がったこともあり、『もしかしたらワンチャンあるのでは?』とも思ったのですが、残念ながら最後(集団に)捉まってしまいました。初めてこういったジャージを頂いたので、最後まで守れるよう頑張って走ります」。

Tour de Kumano Stage RANKING

- 1.ドウシャン・ラヨビッチ(ソリューションテック・ヴィーニファンティーニ)
- 2.岡篤志(宇都宮ブリッツェン)
- 3.ベンジャミ・プラデス(ヴィクトワール広島)
- 13.ニコロ・ガリッポ(JCL TEAM UKYO)

Tour de Kumano GC RANKING

- 1.ドウシャン・ラヨビッチ(ソリューションテック・ヴィーニファンティーニ) 2:55:46
- 2.岡篤志(宇都宮ブリッツェン) +0:05
- 3.ベンジャミ・プラデス(スペイン、ヴィクトワール広島) +0:09
- 5.鎌田晃輝(JCL TEAM UKYO) +0:11

JCL TEAM UKYO ならびにこのレポートに関するお問い合わせ: KATAYAMA PLANNING株式会社
田村 遼(広報) Mail: tamura@kplanning.co.jp TEL: 090-44551-4021
増田 深雪(広報) Mail: m-masuda@k-planning.co.jp

